

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農村環境課長 青野 正 (課長補佐兼地域政策係長 奥田 邦清)	内線	3931 (3934)
------	-------	---------------------	---------------------------------------	----	----------------

事業種目	総合整備	事業名	事業区間	総事業費	約9億円
		農村振興総合整備統合補助事業	春日地区	内用地補償費	1.3億円

所在地		着工予定年度	完成予定年度
氷上郡春日町		H15	H19

事業の目的	事業内容
<p>交流施設の用地整備や農村公園の整備を行い、都市農村交流の舞台づくりを推進し、地域の活性化を図る。</p> <p>また、獣害防止柵の全町的取組みをはじめ、農道の整備や防火施設の設置など生産基盤と生活環境基盤の総合的・一体的な整備を行い、定住条件の改善を図る。</p> <p>事業主体：春日町</p>	<p>交流施設用地整備 1箇所、農村公園 4箇所 [国：50%、県：0%、町・地元：50%] 獣害防止柵：L = 32.6km 生活環境基盤 (集落道 L = 3.5km、集落排水 L = 1.3km) [国：50%、県：6%、町・地元：44%] (防火水槽 7箇所) [国：50%、県：0%、町・地元：50%] 農業生産基盤 (用排水路 L = 0.5km、農道 L = 4.0km) [国：50%、県：12%、町・地元：38%]</p>

評価視点	
(1)必要性	<p>春日町は、開通予定である北近畿豊岡自動車道が交差する新たな交通の要衝として期待されており、農村振興の視点から地域農業を活かした都市農村交流の展開が望まれるところである。</p> <p>このため、集落を越えた地域住民の参画により、地域振興の計画づくりが行われ、農村の人々の定住条件である生産基盤と生活環境基盤を早急に整備することが必要となっている。また、良好な農村環境と調和した魅力ある地域整備とともに、計画的な都市交流施設の整備・充実等の総合的取り組みを推進する必要がある。</p>
(2)有効性・効率性	<p>北近畿豊岡自動車道の整備や、インターチェンジ周辺で「交流物産館」、「道の駅」、「遺跡公園」等の基幹プロジェクトが進められている。これらと連携することにより、本事業は、農業生産の振興及び都市と農村の交流を活かした農村振興を図ることが可能となる。</p> <p>なお、投資効率は1.42で事業効率は十分に期待できる。</p>
(3)環境適合性	<p>本事業は、農地の機能保全と活用を促進するための整備であり、地形を大きく改変する工種はない。また、景観や自然環境をはじめとした周辺環境との調和への配慮を前提としているため、地域産材料（木材）の利用や緑化を中心とした工法を用いる。</p>
(4)優先性	<p>平成18年度の北近畿豊岡自動車道の開通に合わせて、交流特産館、道の駅、遺跡公園などの関連事業との連携・調整した地域整備を進める必要があり、早期整備により相乗効果が期待されるものである。</p>